

第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2016年6月11日(土)～12日(日)

@浅草ビューホテル、台東区立浅草公会堂、台東区民会館、東京都立産業貿易センター台東館

ワークショップ 36	
企画名	救急超音波講習会
日時	2016年6月12日(日) 15:30～17:00
会場	第13会場 (台東区民会館 9階 ホール(2))
企画責任者	児玉貴光 (愛知医科大学 災害医療研究センター)
定員	15名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】</p> <p>プライマリ・ケア領域において生命を脅かすような危機的病態を呈する患者をいち早く発見して客観的なアセスメントを施すことで確定診断や決定的治療までの時間を短縮し、患者の予後を改善して満足度を向上することは非常に重要である。これを実現するにあたって、強力な武器となるのが超音波診断装置を用いた Point-Of-Care である。救急・重症患者に対してプライマリ・ケア医や総合診療医が超音波診断装置を使いこなして診断や治療することは安全で質の高い医療には不可欠であり、その知識と技術の修得は必須である。</p> <p>本ワークショップでは、ミニ講義とハンズオンを通じてプライマリ・ケア医が超音波診断装置を用いて救急・重症患者の病態を評価するための基本的な知識と技術の一部を講授する。受講によって、「生命危機に及ぶ腹腔内疾患を迅速かつ確実に評価できるようになる」、「ショックの鑑別と循環血液量を類推するために下大静脈や下肢深部静脈の評価ができるようになる」、「シミュレータを用いて異常画像の特徴を理解する」ことが学習目標となる。</p>	
<p>【概要】</p> <p>1.はじめに (10分)</p> <p>2.〔実技〕大動脈を含めた腹腔内臓器の走査方法 (25分)</p> <p>〔実技〕下大静脈と下肢深部静脈の走査方法 (25分)</p> <p>〔講義〕シミュレータによる異常画像の鑑別 (25分)</p> <p>3. まとめ (5分)</p>	